

## 2020年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	関係法規・制度	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	単位 時間	1 30	曜日・時限	水曜日 2・3・4限
教員	諸岡功明						

### 【到達目標】

美容業と法律の関係を理解し、公衆衛生の向上に寄与するような美容師になるために、国家試験合格に必要な知識を身につける。

### 【授業の学習内容】

美容師になるために合格に必要な国家試験に必要な知識、テクニックを当該教科だけでなく、関係する他教科の分野まで身につけることができます。

### 【教員実務経験】

大学院博士課程において、教育学を専攻したのち、本校のみならず様々な高等教育機関で実践を行いました。本校においては10年以上国家試験対策に従事しています。

No.	日程	授業形態	授業計画・内容	小テスト・定期試験
1	1回目	講義	①授業を受けるにあたって気をつけるべきことを理解する。②法制度の概要について理解する。③関係する行政体の仕事の違いを理解する。④保健所の役割と機能について理解する。	
2	2回目	講義	①美容師の仕事の法的意義を理解する。②美容師と理容師の職務の差異について理解する。③美容師免許の取得方法を理解する。	
3	3回目	講義	①美容師免許の取得の仕方を理解する。②免許取得後仕事ができない場合(免許取り消し、業務停止処分)について理解する。	小テスト5点
4	4回目	講義	①美容師の業務における法的義務について理解する。②管理美容師制度について理解する。	
5	5回目	講義	美容所の開設について、その時期、必要書類、変更届との差異などの点を理解する。	小テスト5点
6	6回目	講義	①美容所の開設者の講ずるべき衛生措置について理解する。②美容所以外で美容業ができる特例について理解する。	
7	7回目	講義	①違反者への処分、とくにオーナーが閉鎖命令を受ける場合を理解する。②罰則になる5つのパターンを理解する。	
8	8回目	AL	中間試験	中間試験20点
9	9回目	講義	①中間テストで間違えたところを確認し、正しい知識を身につける。②立ち入り検査について理解する。	小テスト5点
10	10回目	AL	美容師法で問題となる期間についてポイントを理解する。 以下の内容について国家試験で正答できる知識を身につける。 ①行政事務の主体 ②美容師と病氣	
11	11回目	AL	条例で追加して定めることのできる3つの事柄について、それぞれの同異点について理解し、それについての国家試験の過去問に正答できる。	小テスト5点
12	12回目	AL	美容師の法的な職務である公衆衛生について、とくに注意が求められる保健所、管理美容師、立ち入り検査制度及び生衛法についてポイントを確認する。そ	
13	13回目	AL	以下ポイントについて再確認し、それについての国家試験の過去問に正答できる。 ①美容師法と関係法規 ②美容師法と数字 ③これが出たら×シリーズ	
14	14回目	AL	期末試験	期末試験50点
15	15回目	講義	期末試験フィードバック・成績評価	小テスト10点

### 準備学習 時間外学習

準備: まとめのプリントを整理するファイルの用意  
時間外学習: 授業のポイントを復習し、記憶する。

### 評価方法

●習熟度 : 定期50点 口頭試問、筆記式小テスト30点 中間テスト20点  
◇出席 : TS・実践・TB・HM・BR・国Bは70%以上、美容師は出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる)  
◇合否 : 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60) 否(E:評価資格喪失、F:59~0)、  
実習や習熟度が測れないものについてはS・U評価

### 受講生への メッセージ

言葉が専門的で表現も難解ですが、その分出题の傾向とポイントは一定です。絶対に覚える必要のあることに絞って理解しましょう。

### 【使用教科書・教材・参考書】

日本理容美容教育センター『関係法規・制度』適時講師が教科書のポイントをまとめたものを用意します。